

〔専門医による講話〕

- 1 テーマ 「いのちについて考えるがん教育」
- 2 対象 全校生
- 3 専門医 奥山 慎一郎 医師
(訪問診療クリニックやまがた)
- 4 実施月 10月
- 5 内容(キーワード)
がん罹患の現状、がんの原因
がん検診の大切さ、多様な価値観と寄り添い



評価(あてはまるものに○をつけ、理由を記入)

①健康課題の解決について

- 有効だった
有効でなかった

<その理由>

*がんに関わる幅広い知識を
教えていただくとともに、自
分自身や周囲の人々の多様
な価値観を尊重し、寄り添い
合いながら生きていくことの
大切さを再確認する貴重な
機会となった。

②保健教育における校内連携に
ついて

- 有効だった
有効でなかった

<その理由>

*前年度に生徒保健部で生徒
の実態や健康課題を共有し
テーマ設定ができたため。ま
た、保健科目におけるがんに
関わる学びをさらに深めるこ
とができた。

③校外の関係機関等との連携に
ついて(派遣専門医を含む)

- 有効だった
有効でなかった

<その理由>

*がん教育、いのちの教育の
両面からご指導いただける
先生と繋がることができた。

〔受講者の感想など〕

- たばこ食生活ががんの原因の7割を占めると知り、家
に帰ったらすぐに家族に話して禁煙をすすめたいと思っ
た。
- 自分自身や大切な人が残りわずかしか生きられない状
況になった時、一人ひとりが大切にしたいと思うことは
様々で、そこにできる限り寄り添える人でありたいと思
った。



〔教科やその他の指導との関連性〕

- 保健科目で扱う「がん」の分野や、健康的で規則正しい生活習慣の確立、お互いを尊重し合った
人間関係の構築など生徒指導へも生かしていきたい。